

内閣府発表の2019年度青少年

(18歳未満)のインターネット利用環境調査結果によると、全体の93・2%がインターネットを利用し、機器はスマホが63・3%で最も多く、携

帯ゲーム機、

タブレットの順
でした。高校

生の99・1%がインターネットを利用し、98・6%が自分のスマホを持っています。9歳以下の低年齢層では57・2%が利用し、機器はスマホが31・2%、次いでタブレット、携帯ゲ

ーム機の順となっています。

インターネットが子どもたちの生活の一部になっていて、利用時間も前年比で増加しているのです。

スマホ・ネットの安全な利用

フィルタリングについては「知っている」という保護

者が60・2%

低年齢の保護者

では42・0%と認知度は低いことが分かりました。子どもたちが安全にスマホやネットを利用するためにはフィルタリングが必要ですよ。

防犯一口メモ